

【調査目的】

日本食文化ナビ「ダイジェスト版」の使用感等を幅広い地域の現場の声から把握し、ユーザビリティ向上に繋げる。

【実施・回収】

実施期間:2013年9月10日～24日  
 調査対象:68地域(食のモデル地域65地域、及び先進事例3地域)  
 回収数:54地域\*  
 回収率:79.4%  
 \*10月2日現在

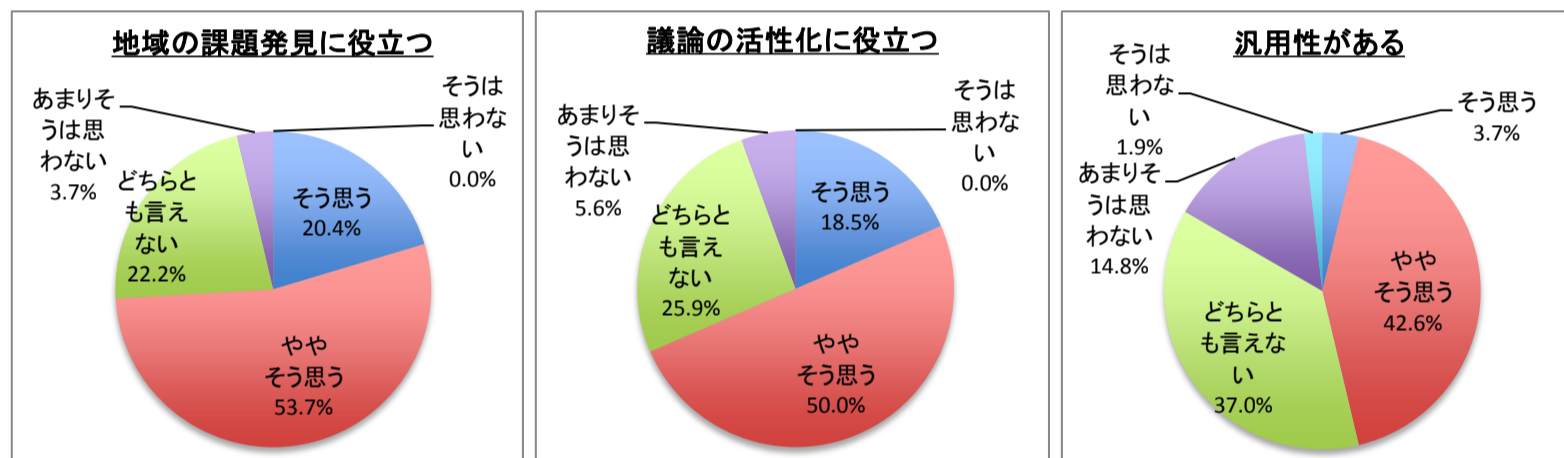
【調査結果】

1. 全体について

①「ダイジェスト版」全体の印象について

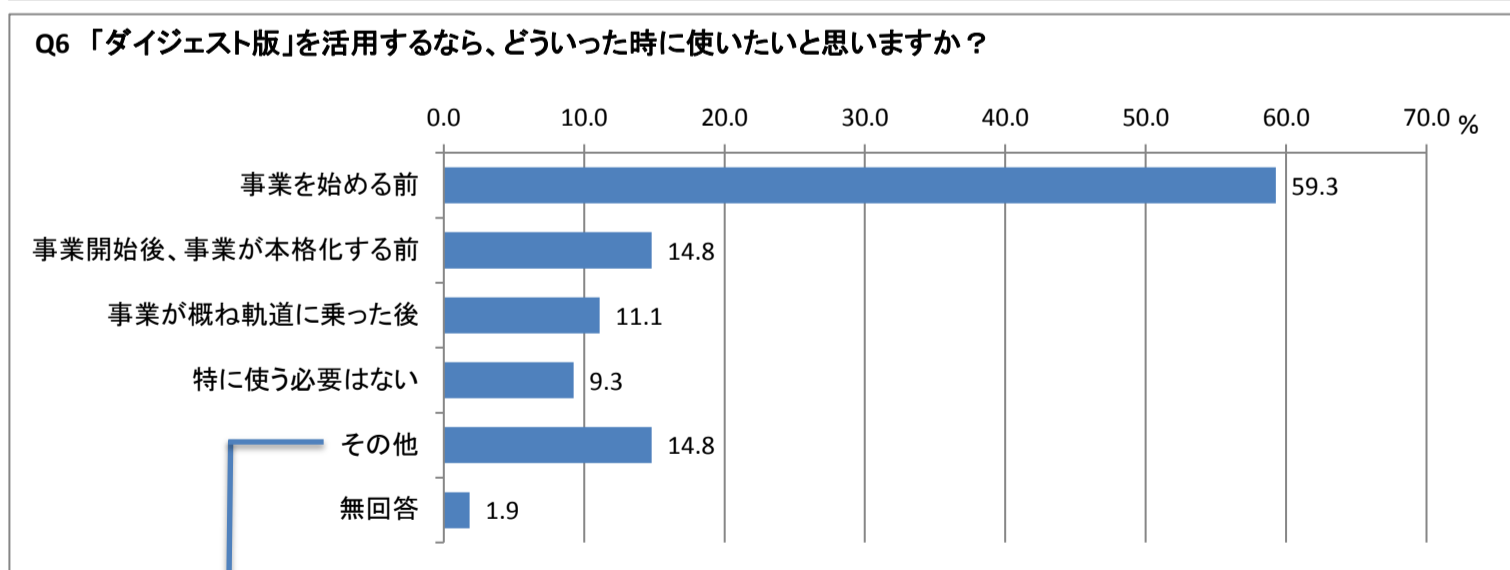
『地域の課題発見に役立つ』については「そう思う」「ややそう思う」との回答が74.1%、『議論の活性化に役立つ』については「そう思う」「ややそう思う」との回答が68.5%、『汎用性』については「そう思う」「ややそう思う」との回答が46.3%という結果となった。

Q1.「ダイジェスト版」の全体の印象についてお伺いします。



②「ダイジェスト版」の活用時期について

「事業を始める前」との回答が最も多く59.3%で、「事業開始後、事業が本格化する前」「事業が概ね軌道に乗った後」「特に使う必要はない」との回答もそれぞれ約1割という結果となった。



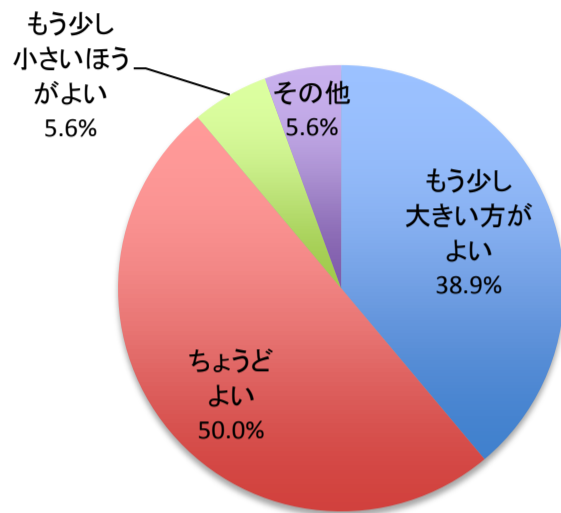
・事業を始める前での確認、軌道に乗った段階での検証等  
 ・進捗状況確認のため定期的に活用  
 ・事業開始後は新規参入者との共通理解が重要。そのために、本ナビを参考にしたチェックシートを作ってもいいと思う  
 ・いつ使えば良いのか呈示してほしい。どういう時に使えば良いのかわかりにくい

## 2. デザインについて

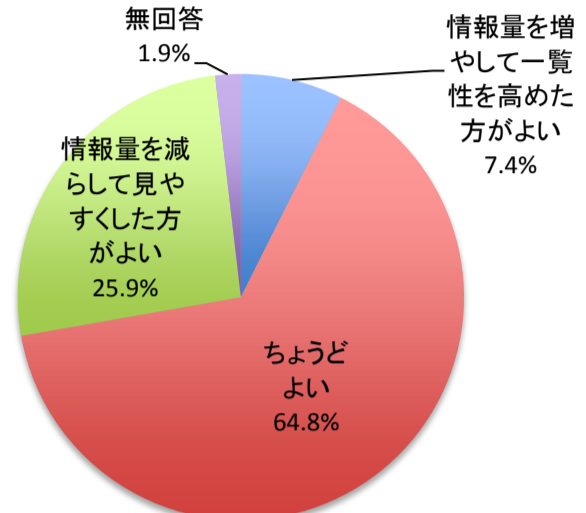
### ①「ダイジェスト版」のデザインについて

サイズについては、「ちょうどよい」との回答が50.0%、「もう少し大きい方がよい」との回答が38.9%という結果となった。  
情報量については、「ちょうどよい」との回答が64.8%、「情報を減らして見やすくした方がよい」との回答が25.9%という結果となった。

Q2-(1) 冊子のサイズについて



Q2-(2) 1ページあたりの情報量について



#### 【デザインについて自由回答より】

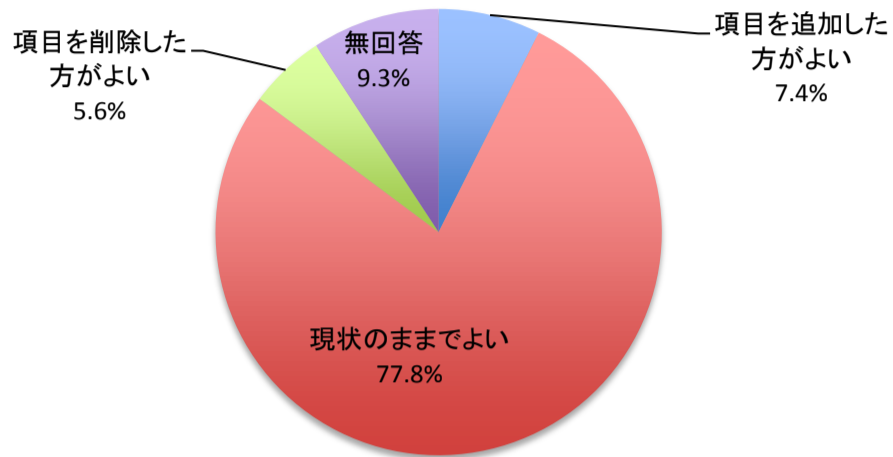
- ・冊子の大きさよりも文字の大きさが気になる。年代の高い人には読みづらいのではないかと
- ・文字が小さくて多いというだけで、拒絶される可能性が高い
- ・内容は素晴らしいと思うので、指導者の研修材料として活用できるように1ページに詰め込まないでほしい
- ・8ページ以降、前頁までのカラフルさが無くなり急に事務的デザインになっており、活用意欲を減退させる。写真などの絵を挿入するとイメージがわかりやすく、とっつきやすくなる
- ・概念図やポンチ絵などもあったほうが分かりやすい
- ・ページとしてのタイトルがほしい
- ・西米良村の事例は、県名がないと所在地が思い浮かばない

### 3. 「ダイジェスト版」全体の構成について

#### ① 「ダイジェスト版」の構成について

「現状のままでよい」との回答が最も多く、77.8%という結果となった。

#### Q3 構成・視点の説明・ワークシートについてどう思われますか。



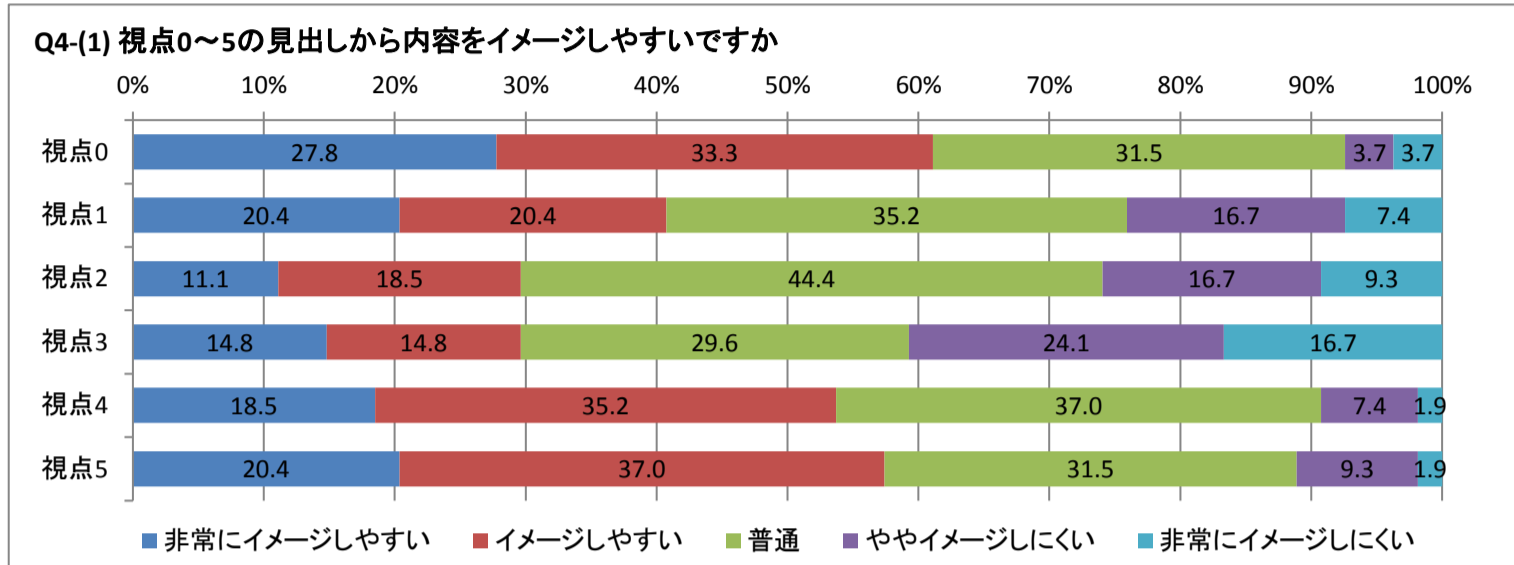
#### 【構成全体についての自由回答より】

- ・最後に地域の事例集があれば参考にしやすい
- ・他事例を自分の地域に置き換えることでアイデアが生まれることもある。知らない事をゼロから気づくのは難しい
- ・他地域も模範になる成功事例集をもっと掲載すべき
- ・誰に、何をさせたい冊子なのかをもっと明確に示した方がよい
- ・なぜ視点0～5の全てを満たすことを目指すのか、説明が必要だと思う
- ・ワークシートへの記載の結果、どのように把握し分析したらよいかの説明が不足している
- ・P1、16はイメージしにくいいため削除する
- ・系統だててありよかった

#### 4. 各ページについて

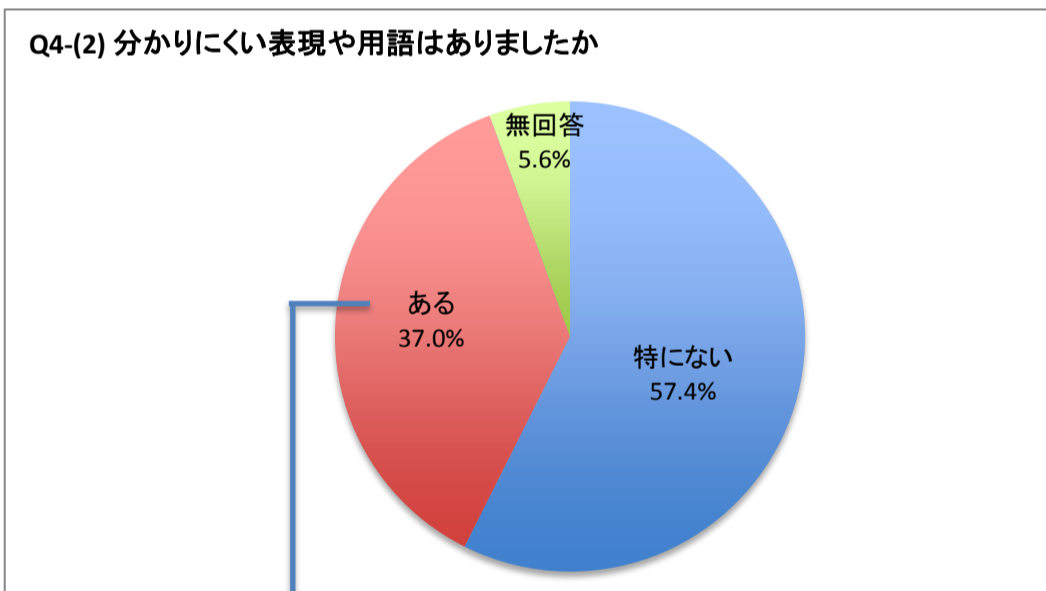
##### ① 導入～解説部分(P1～8)について

見出しから内容をイメージしやすいかどうかについて、視点0、視点4、視点5は、「普通」以上の回答が約9割を占めたが、視点3、視点2、視点1は、「ややイメージしにくい」「非常にイメージしにくい」との回答がそれぞれ40.8%、26.0%、24.1%という結果となった。



##### ② 使用表現・用語について

分かりにくい表現や用語の有無について、「特にない」との回答が57.4%、「ある」との回答が37.0%という結果となった。



- ・抽象的な表現が多く答えにくい
- ・全体として、カタカナは出来るだけ日本語表現にしたらどうか
- ・説明されれば分かるが、現場(田舎)で使わない用語は避けてほしい(例:ステークホルダー)

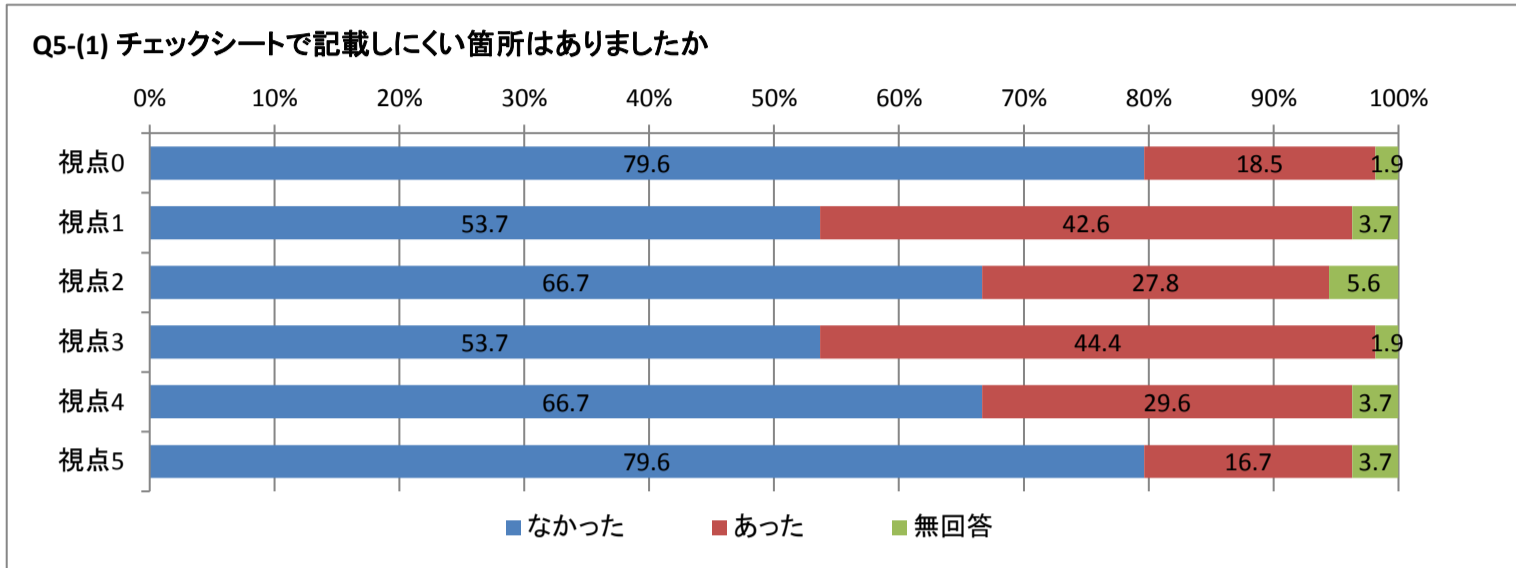
**【具体的に多くあげられたのもの】**

- ・イーティングデザイン (10件)
- ・クリエイティブデザイン (6件)
- ・ステークホルダー (4件)
- ・しつらい (4件)
- ・その他には、「食のプロセス」「来歴・由来」「次世代の舌づくり」「食文化の一部としてのおもてなし」など

### ③ ワークシート(P9~15)について

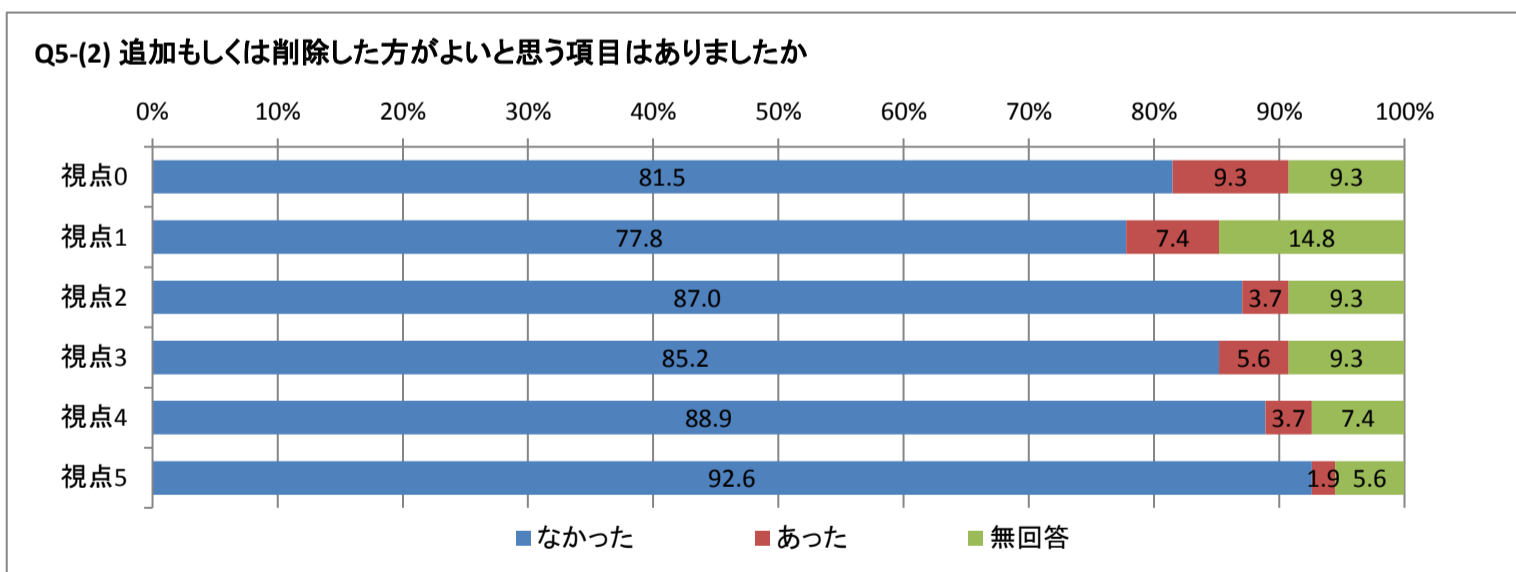
#### (1) 記載しにくい箇所の有無について

「なかった」との回答が、視点0、視点5で約8割、  
「あった」との回答が、視点1、視点3で約4割、視点2、視点4で約3割、という結果となった。



#### (2) 追加もしくは削除した方がよい項目の有無について

全ての視点において、「なかった」との回答が約8割という結果となった。



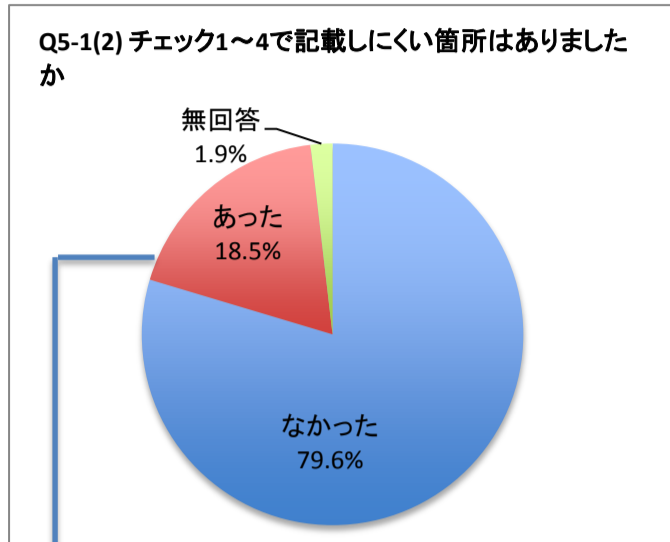
\* 各視点ごとの評価については、以下P6~P8に掲載

### (3)各視点毎の評価

#### [視点0]

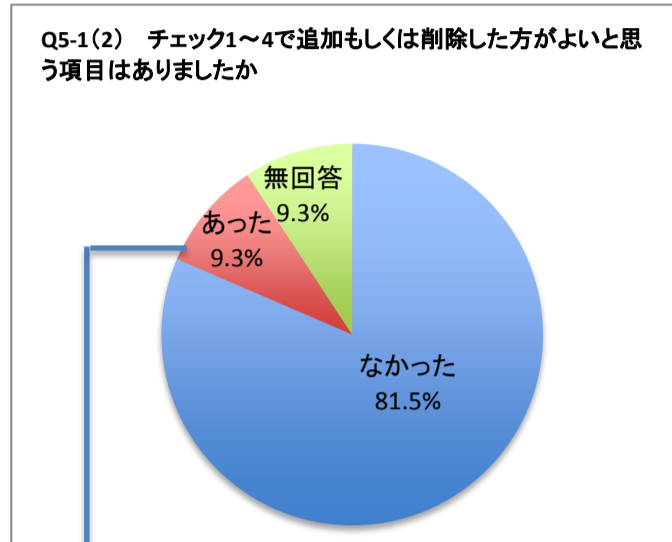
記載しにくい箇所の有無について、「なかった」との回答が79.6%、追加削除した方がよい項目の有無について、「なかった」との回答が81.5%という結果となった。

##### ・記載しにくい箇所の有無について



- ・行事、文化、伝統を書き出すのは難しい
- ・「自然・環境・風景」は鶏の生産システム上、記入できない
- ・「产品中心型」の計画なので、書き難いチェックがある

##### ・追加、削除した方がよい項目の有無について

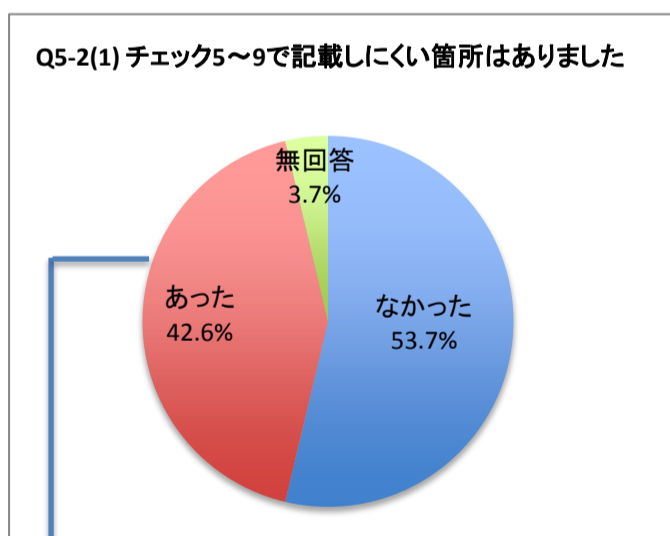


- ・この項自体が目指す部分であり、チェック2から入っているのではないかと(C1)
- ・項目が料理等分かれており、分ける必要性がよくわからない。また吹き出しのコメント「山と田んぼしかない」にも戸惑う(C2)

#### [視点1]

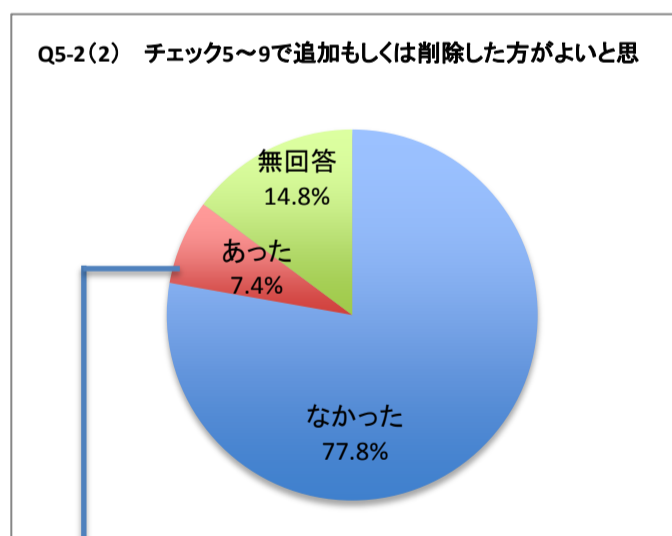
記載しにくい箇所の有無について、「なかった」との回答が53.7%、追加削除した方がよい項目の有無について、「なかった」との回答が77.8%という結果となった。

##### ・記載しにくい箇所の有無について



- ・郷土料理は各家庭で一般的に食べている料理であり、基本は地元食材を使用している(C5・6・7)
- ・地域の食材や料理全てチェックするのは戸惑う。「売り」にしようとしているものに限定するなら、そうわかるように設問したほうがよい(C5・6・7)
- ・料理や特産品ではなく、食材自体が地域に根付いたモノである場合の記載方法(C5・6・7)
- ・ブロックを1つにして表を大きくしたほうが、書きやすくわかりやすい(C5・6・7)
- ・来歴・由来の欄で、「食材が地元産」であるものと、「昔から伝わる在来の食材」との違い(C7)
- ・地域外にもマーケットを求めたい場合、地産地消が絶対条件と言われているように感じる(C6)

##### ・追加、削除した方がよい項目の有無について

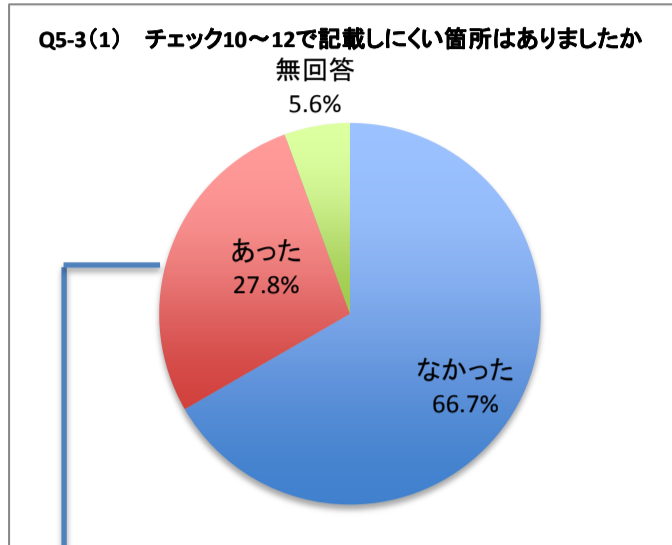


- ・在来品種を活用しているかどうかについては、自分たちがPRしたい作物のみに注目すれば良い。現在提供している料理に使われているその他の食材について在来かどうかについては、特に意識しなくてもPRに支障はないのでは(C7)
- ・料理だけを想定しているように見え、書きにくい。食材だけではだめなのか。郷土料理等だけを対象としたいなら全体的にそうすべき

[視点2]

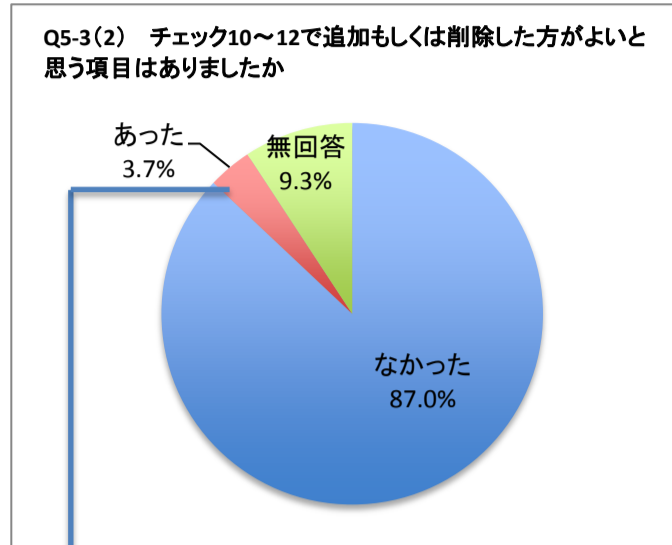
記載しにくい箇所の有無について、「なかった」との回答が66.7%、追加削除した方がよい項目の有無について、「なかった」との回答が77.8%という結果となった。

・記載しにくい箇所の有無について



- ・(例)のところで、地域の歴史と結び付いた祭や行事であることを一目でわかるように表さないと、どんなイベントでもよいように錯覚する
- ・していますか?の質問形式だと、「していない」と答えて終わりそう。できる可能性も問うたらどうか
- ・抽象的で全般的にわかりづらい

・追加、削除した方がよい項目の有無について

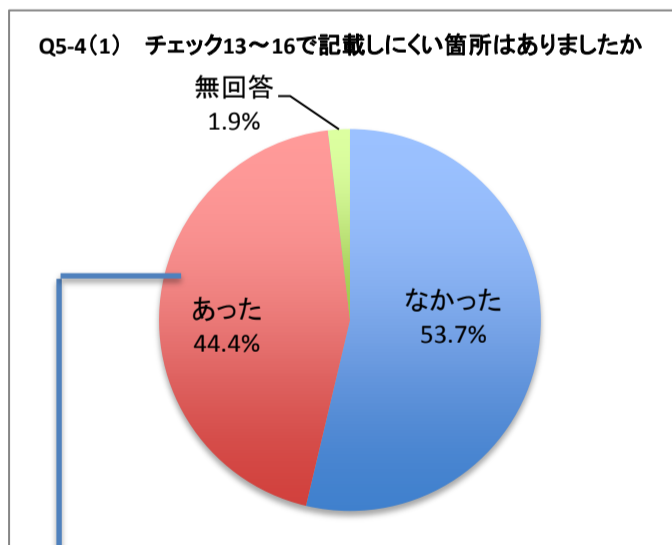


- ・祭りや行事等を活かすことが必須条件のようにみえる。そうではない取組みもあると思う

[視点3]

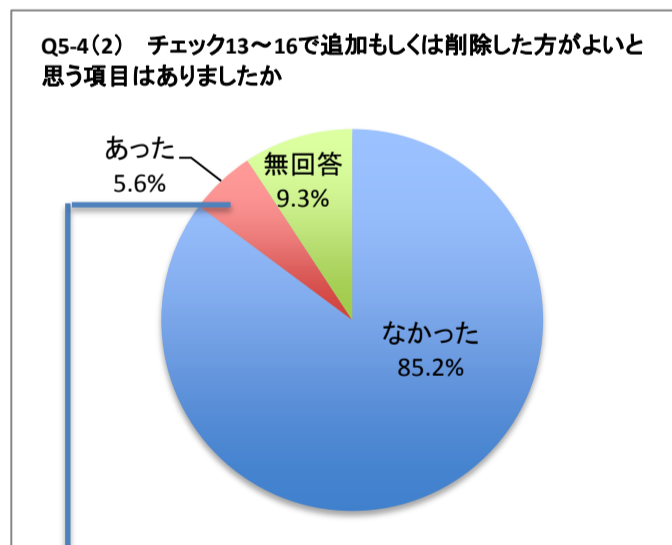
記載しにくい箇所の有無について、「なかった」との回答が53.7%、追加削除した方がよい項目の有無について、「なかった」との回答が85.2%という結果となった。

・記載しにくい箇所の有無について



- ・質問の文章が答えをイメージしにくい
- ・具体例がなかったため、イメージしにくかった
- ・食の一部としてのおもてなし⇒わかりにく表現
- ・地域語として必ずしも定着していない「おもてなし」で語ることに、小さな違和感を感じる
- ・加工事業に結びつきにくい
- ・県内全域を対象としているため、すべてを把握できていない
- ・地域の歴史、文化、風習などの知識が無い(どこに問い合わせればいいのか)ため。そういった資料を商議所などで発刊してはどうかと思う

・追加、削除した方がよい項目の有無について

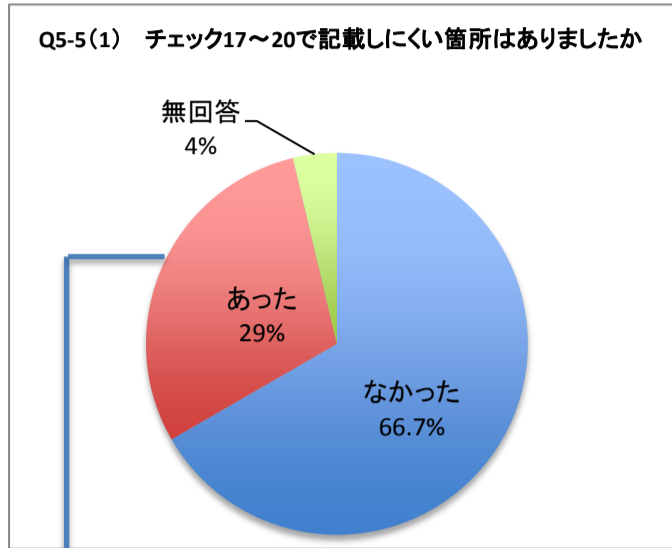


- ・チェック15は、チェック16の一部と考えられるため削除も可では

[視点4]

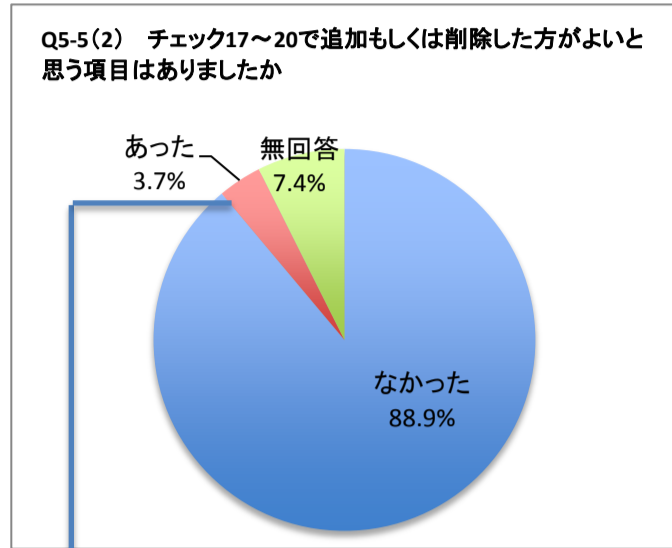
記載しにくい箇所の有無について、「なかった」との回答が66.7%、追加削除した方がよい項目の有無について、「なかった」との回答が88.9%という結果となった。

・記載しにくい箇所の有無について



- ・海外に対する取り組みは、なかなかイメージし難い(行っていない所は尚更)
- ・海外というレベルに達していないので書けない
- ・国内マーケットですら補えられない量なのに、海外マーケットまで広げられない
- ・評価を受けるための工夫がイメージしにくかった
- ・これから地域活性化に取り組む人が活用するには「どのように地域活性化に取り入れていますか」と現状ではなく、「どのように地域活性化に取り入りたいですか」ではないか

・追加、削除した方がよい項目の有無について

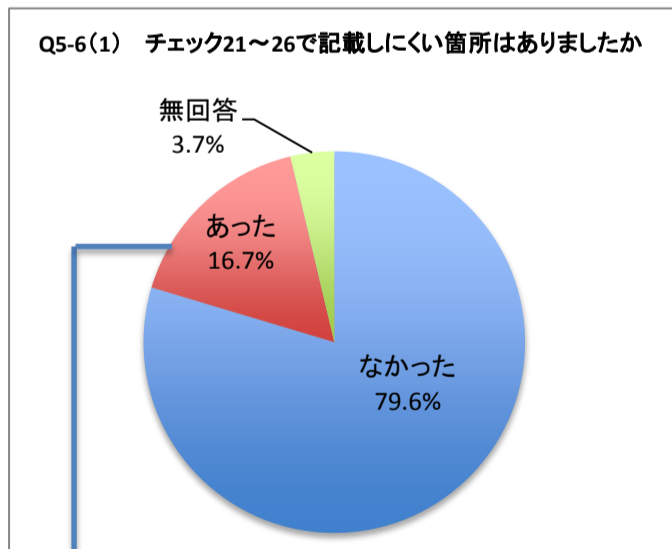


- ・特になし

[視点5]

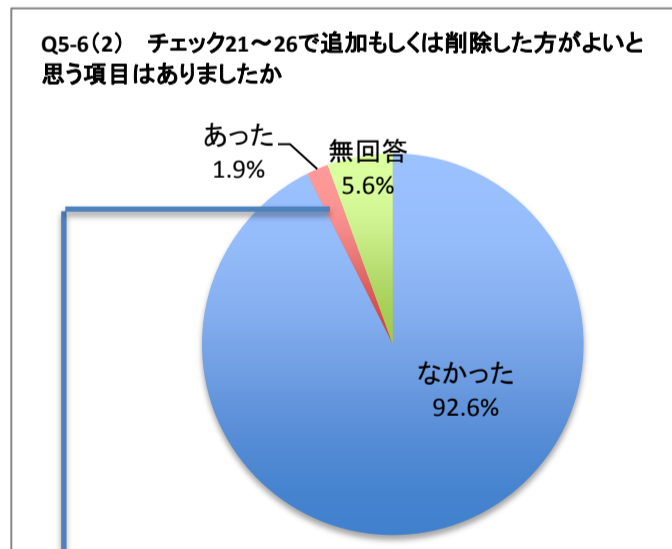
記載しにくい箇所の有無について、「なかった」との回答が79.6%、追加削除した方がよい項目の有無について、「なかった」との回答が92.6%という結果となった。

・記載しにくい箇所の有無について



- ・「誇り」「絆」等が抽象的な言葉でイメージがしづらい
- ・「食する側の人づくり」という言葉の趣旨がよく分からなかった
- ・質問の文章がわかりにくく答えをイメージしにくい

・追加、削除した方がよい項目の有無について



- ・特になし



④ チェック1～26以外に工夫していたり、気を付けていたりする項目について

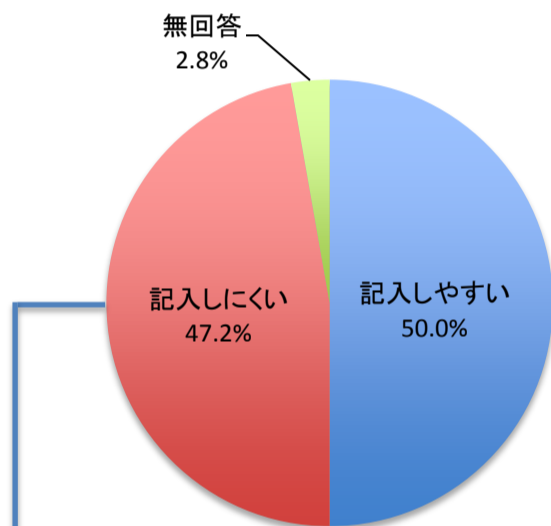
- ・イベントを通して、楽しみながら食材を食べていただいて、周知を図ること
- ・実践しているもしくは実現するためのカギとなる地域、人材、組織、会社などの掘り起しや育成
- ・食の送り手はもちろん、地域の食の受け手のあり方
- ・地域での取組は、参加者全員が「自分が主役」「この取組は意義が有る」「自分にとってメリットが有る」と思えるようにする。取組の中に「楽しみ」があるよう工夫している

5. レーダーチャートについて

①レーダーチャートの記入しやすさについて

「記入しやすい」との回答が50.0%で、「記入しにくい」との回答が47.2%と、意見が半分に分かれる結果となった。

Q9 レーダーチャートは記入しやすいですか？



【記入しにくい理由(自由記入より)】

- ・3段階評価より、もう少し細かく5段階評価位がちょうどいいと思う
- ・0は「もう少し」ではなく、「全くできていない」の方がいいのでは
- ・記入しにくいというわけでもないが、0地点が「もうひとふんばり」なのでなんとなく違和感がある
- ・基準がないので自己判断となる
- ・レーダーチャートを見た際に視点1～5までを、前のページを見返さなければいけないため

② レーダーチャートはどのように改善すると記入しやすくなると思いますか。

【自由記入より】

- ・視点の各項目で1か所でもチェックが付いたら「まあまあ」、等の評価基準があると分かりやすい
- ・評価を5段階くらいにしたらどうか
- ・記入方法、記載例などが、あればいいと思う
- ・レーダーチャートは廃止して、5段階評価で各ページ右上に数字のみ記入させる
- ・自己評価なので基準はなくていいと思う
- ・視点1・視点2・視点3・視点4・視点5の題目も記載頂くと見やすい